

季刊 青春本棚通信

Vol. 13



青春本棚にあるPOPの一部です。オススメ本への愛でとても活気あふれる棚に☆これからも投稿待ってます♪ひとことカードや表紙イラストも募集中！（投稿方法は最終ページを見てね）

LINEUP



『ビブリオバトル@テーブル2019』を開催しました！

『松山市立中央図書館ビブリオバトル』開催！

中学生・高校生のバトル参加者募集中！

本好きのコーヒープレイク

青春ひとことLINE

青春☆POP便

青春☆POP作成会のご案内

図書館ダンジョン・エクスプローラー

図書館投稿のススメ



2019

秋

『ビブリオバトル@テーブル2019』を開催しました！

8月21日に中央図書館でビブリオバトル@テーブルを開催しました。

通常のビブリオバトルと違って各テーブルで観客もいないなか、参加したバトラーは和やかで@（アット）ホームにバトルを楽しみました。紹介された本を読んで、また紹介して、**どんどんビブリオバトルの輪を広げていこう！**



5分間話し続けるのは大変！

面白そうな内容～読んでみたいな！



今回のチャンプ本 ぜひ読んでみてね！

『鳥居の向こうは知らない世界でした』（友麻 碧//著・幻冬舎）



『くちびるに歌を』

（中田 永一//著・小学館）

『日本人の知らない日本語』

（蛇蔵ほか//著・メディアファクトリー）

『王女殿下はお怒りのようです』

（ハツ橋 皓//著・オーバーラップ）



興味をもったあなた！ビブリオバトルに参加・観戦しませんか？

ビブリオバトル公式ルール

1. ひとり1冊ずつオススメ本を持って集合！

本のテーマは原則自由。「食べものの本」など各バトルで設定してもOK。同じ本の種類も制限可。（コミックや雑誌はNGなど）大事なものは、必ず自分が読んで選ぶこと！

2. 開戦！順番に制限時間5分でオススメ本を紹介します。

バトラーの持ち時間は厳守！5分を過ぎたら発表終了だよ。資料は用意せず、バトラーも本だけ持っていざ勝負！原稿を読むより自分の言葉で生き活きと語れば皆の心に響くよ。バトラーのほかに発表を聞いて投票する観戦者がいても盛り上がるよ！

3. それぞれの発表の後に、制限時間2分でディスカッション（質疑応答）します。

バトラーの揚げ足をとったり批判はしないで。分からなかったり気になったことを全員で聞いてみよう。

4. すべての発表が終わった後、全員で「どの本が一番読みたくなったか？」の投票をし、最も多く票を集めた本が「チャンプ本」の栄誉を勝ち取ります！

全員で1人1票。バトラーも投票できるよ。でも自分の作品には投票しないこと！

第6回 松山市立中央図書館

ビブリオバトル

あなたのお気に入りの1冊 紹介してみませんか？

ビブリオバトルとは、読んで面白いと思った本を持ち寄り、1人ずつ順番に、本の紹介（5分間）、質疑応答（2分間）を繰り返した後、「全員の発表を聞いて一番読みたくなった本はどれか」の投票をして、最多票を集めた本を紹介した者が、チャンプの栄冠を勝ち取る「知的書評合戦」である！

中学生・高校生のバトル参加者募集中！！

開催日時 令和元年10月27日（日）午後1時～

開催場所 松山市総合コミュニティセンター 1階展示室

参加対象 松山市内在住・在学の中学生・高校生

（観戦は全年齢自由） ←参加自由・当日会場に集合！

募集人数 中学生・高校生 各部6名程度（申込多数の場合抽選）

募集期間 9月14日（土）～10月19日（土）

申込方法 下記までFAX又はEメールで

氏名・住所・連絡先・学校名（学年）・

発表本をご連絡ください。

見事チャンプになった方には、
賞状と副賞「図書館購入図書を選ぶ権利」を授与！

過去のチャンプ本

H30『ヨーロッパ退屈日記』（伊丹 十三//著・新潮社）『いなくなれ、群青』（河野 裕//著・新潮社）

H29『アイネクライネナハトムジーク』（伊坂 幸太郎//著・幻冬舎）

H28『シンダーに救われた少年』（レオン・レイソン//著・河出書房新社）『ゼツメツ少年』（重松 清//著・新潮社）

【お申込・問合わせ先】松山市立中央図書館事務所 ビブリオバトル担当

電話：943-8008（代表） FAX：933-9968

Eメール：tosyokan@city.matsuyama.ehime.jp ※件名「ビブリオバトル参加申込」で送信



若き世代に新たな世界の扉を開く、すばらしき読書のひとときを——

本好きのコーヒーブレイク

図書館で働くオトナたちはやっぱり本が大好き！そんなオトナたちがホッと一息つくコーヒーブレイクに、「中高生にこれからの秋に読んでもらいたいな」と思いついた本を紹介します。さあ、あなたもまだ見ぬ新しい世界の扉を開いてみませんか？



『ホラーめし ハロウィン ヴィジュアル レシピブック』 (主婦の友社)

Trick or Treat! 10月31日はハロウィンですね。

最近のハロウィンは激熱！そんなハロウィン用のフォトジェニックでインパクトのある料理本です。蜘蛛のアイスクリーム・棺桶のミートローフ・脳みそマフィンなどなど初心者でも簡単に作れるレシピが満載。その中でも特に私のオススメは、口の冷製サラダと目玉のエピチリ！ハロウィンパーティーを楽しむセッティングも紹介しています。見て驚くもよし、作って盛り上がるもよし♪

【分類番号：596.4-ホ】

図書館 松本



『いかにしてアーサー王は日本で受容されサブカルチャー界に君臨したか』 (岡本 広毅・小宮 真樹子//編・みずき書林)

アーサー王と円卓の騎士。有名な中世騎士の物語ですが、あなたは何からアーサー王を知りましたか？最近では本家アーサー王伝説ではなく、ゲームやアニメなどアーサー王や円卓の騎士が登場する別の作品から知ることが多いのではないのでしょうか。この本では、アーサー王と円卓の騎士が日本で創作のモチーフとなり、サブカルチャーとして広まっていった過程を研究者からマンガ家まで様々な人が解説しています。一見難しそうですが、例として上がっているのが「Fate」シリーズや「ドラクエ」なので、気楽に読んでみてはどうでしょうか。ちなみにこの本は同じ内容で表紙が3種類あります。図書館にあるのはアーサー王版ですが、書店などでランスロット版、ガウエイン版を見つけたら表紙が繋がっているのを見比べてみてください。

【分類番号：930.2-イ】

図書館 本多



マンガ『鬼滅の刃』(吾峠 呼世晴//著・集英社)

この物語は、大正時代の日本が舞台の剣劇奇譚で、人を喰う「鬼」と呼ばれる異形の存在に家族を殺された少年・竈門炭治郎が、不幸にも鬼と化した妹・禰豆子を人間に戻す方法を求め、鬼殺の剣士となって最初(起源)の鬼・鬼舞辻無惨を追い戦いを繰り広げる姿を描いています。登場キャラの個性に彩られた剣劇アクションも素晴らしいのですが、この作品の見どころは“滅び”とそれに対するやさしみ、悲しみというものを、とても美しく描いているところです。死の間際、人間であった頃の記憶に涙する鬼——自らの体を捨て、命を捨てて戦う鬼殺の剣士たち——少年漫画にありがちな“ねじ伏せる強さ”ではなく“はかなき弱さ”ゆえの戦いに、老若男女を問わず、魂が共鳴する人も多いと思います。ぜひ読んでみてください。

【分類番号：726.1-コ】

図書館 森